



Mari Christine

異文化コミュニケーター
富山大客員教授
4歳まで日本で暮らし
その後、諸外国の多様な文化の中
で幼少期を過ごす
幅広い視点で
異文化のパイプ役として
多方面で活躍

マリ・クリスティーヌさんが国際文化講演

「人と人をつなげる国際交流」—多文化によって豊かになるまちづくり

一関のモチは、日本の代表的な和食です。私
は、日本食と和食は違うと考えています。

四の膳まで食べて、五の膳を家に持ち帰る懐
石は日本食。一方、四季に応じた旬の食べ方や
地域の特徴があるものが和食です。

共通して言えることは、そこに「おもてなしの
精神」が宿っていること。食を通して和んだり、
和が生まれたりするから和食なのです。カレー
やラーメンだって、そこにおもてなしの心があ
れば和食です。

日本は、多文化大国です。国内で異文化交流
が活発に行われています。「おもてなし」と「ホ
スピタリティー」は違います。ホスピタリティー
は充実したサービスのこと。それに対して、おも
てなしは文化です。日本の心です。自分の国
を好きになってくれる人をもっと増やしてい
きましょう。それが国際交流の第一歩です。

日本人と外国人の価値観は同じではありません

ん。私たちが日常、当たり前だと思っていること
が、外国人の興味を引くことも少なくありませ
ん。大事なことは自分たちの価値観を押しつけ
ないことです。相手を受け入れるということは、
異なる考え、気持ちや感じ方を受け入れるとい
うことなのです。

私は神奈川県葉山に住んでいます。そこ
は、インターナショナルスクールや国際研究施設
があって、多くの外国人が暮らしています。
日本人と外国人が共生する風景は日常の光景
です。30年も前から草の根交流を繰り返してき
た藤沢町には、住民主導で築いてきた異文化交
流の素地ができています。この取り組みをもっ
と深め、もっと広めてください。多文化が共生
することで、もっと豊かで魅力的なまちづくり
ができるでしょう。

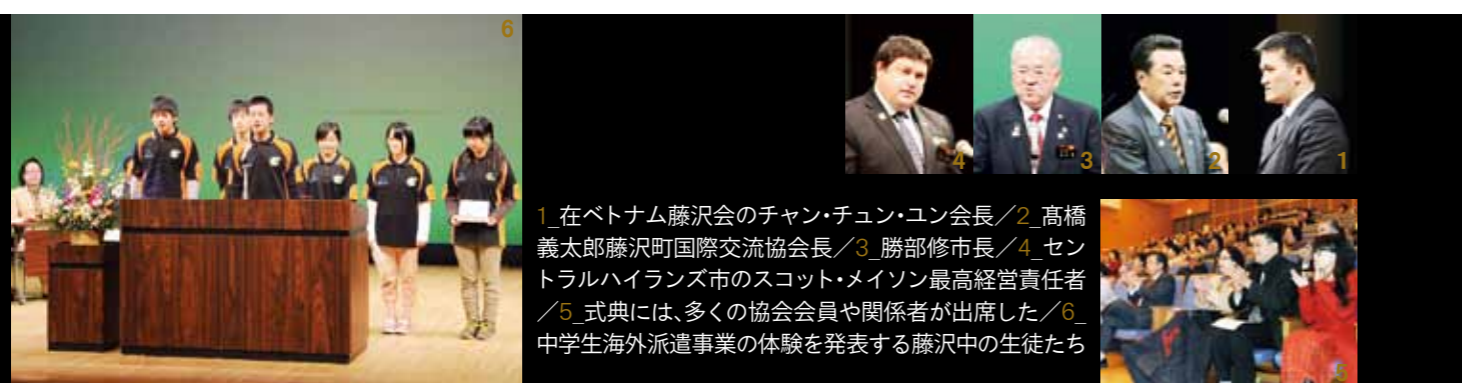


藤沢町国際交流協会設立30周年記念式典・講演会

藤沢町国際交流協会設立30周年記念特集

国境越えた友情の絆

国際化に対応できる人材育成と世界に開かれたまちを目指して始まった国際交流活動
住民一人一人が理解を深め、温め合ってきた草の根交流は、やがて町と町、国と国との絆へと発展した
藤沢町の国際交流30年の歩みを振り返る



1_在ベトナム藤沢会のチャン・チュン・ユン会長 / 2_高橋
義太郎藤沢町国際交流協会会長 / 3_勝部修市長 / 4_セン
トラルハイランズ市のスコット・メイソン最高経営責任者
/ 5_式典には、多くの協会会員や関係者が出席した / 6_
中学生海外派遣事業の体験を発表する藤沢中の生徒たち

草の根交流30年の歩みを振り返る

藤沢町国際交流協会
(高橋義太郎会長)の「設
立30周年記念式典」は昨
年11月23日、藤沢町文化
センター「縄文ホール」で
行われ、地域ぐるみで交
流を深めてきた「草の根
交流」30年の歩みを振り
返った。

午後1時から行われた
式典に先立ち、これまで
の交流を編集した記念D
VDが上映された。式典
には同協会会員、市、市
議会のほか、国際姉妹都
市オーストラリア・セン
トラルハイランズ市のス
コット・メイソン最高経
営責任者(CEO)、ケヴ・
クラックネル市議、在ベト
ナム藤沢会のチャン・チュ
ン・ユン会長、日越教育交
流事業で来日しているベ
トナムの学生たちが出席。

④藤沢町の縄文ホール
で行われた藤沢町国際
交流協会30周年記念式
典 / ⑤ホールロビーに
は、30周年を振り返る懐
かしい写真がずらり



あいさつに立った高橋
会長は「地域に根差し、世
界に開かれたまちづくり
の充実へ力強く歩んでい
きたい」と決意を新たに
した。勝部修市長は「二関
市の国際交流の原動力に
なる協会になってほしい」
とさらなる交流活動に期
待を寄せ、メイソンCEO
は「責任感を持って、価値
観を分け合い、賢明な努
力の結果。この偉業を誇
るべき」と、ユン会長は「日
越の国交樹立40周年を迎
え、深い交流を行って
きたい」と祝辞を述べた。

最後に、昨夏、中学生
海外派遣事業に参加し、
海外派遣事業に訪れた藤沢中
の生徒6人が「貴重な経
験をした10日間。これか
ら多くの中学生に体験
してほしい」と発表。出席
者は30年の歩みを振り返
るとともに、一層の交流推
進を誓った。

マリ・クリスティーヌさんが記念講演

式典に続き、異文化コ
ミュニケーターや富山大
客員教授として多方面
で活躍するマリ・クリス
ティーヌさんを講師に「国
際文化講演会」が開かれ
た。

(財)自治総合センターに
よる宝くじの助成金を活
用して行われた講演会は
記念事業の一環。「人と人
をつなげる国際交流—多
文化によって豊かになる
まちづくり」と題した講
演でクリスティーヌさん
は、自らの経験を交えな
がら「おもてなしの心」な
ど、豊かな日本文化の魅
力について紹介。

「私たちの日常が、外国
人にとっては興味深いこ
とだったりします。ホー
ムステイは一番の国際交
流です。自分の国を好き
になってくれる人を増や
しましょう。藤沢の30年
の取り組みをもっと深め、
もっと広めてください」と
エールを送った。

【30年の軌跡】

- 1983 藤沢町国際親善協会設立。佐藤守町長が初代会長に就任 / 初代国際理解講師「ダレック&レオニー」招へい / 英会話教室、エアロビクス教室など開始
- 1984 保育園、小学校へ講師派遣を開始
- 1987 第2代講師「スコット&グレイ」を招へい / オーストラリア友好親善の集いを開催
- 1988 第3代講師「ヘンリーファミリー」を招へい
- 1989 第4代講師「イアン&キャス」を招へい / インフオーマル国際討論会開催
- 1990 第1回中高生ホームステイ短期留学事業 / 国際交流ボランティアホストファミリー募集
- 1991 91ママさんの翼海外研修事業 / 第1回ふるさと発見92inフジサワ / 第1回英語かるた大会開催
- 1992 第5代講師「ジェニー&ケイティ」を招へい / デュアラリンガ町から町議会議員来庁
- 1993 第6代講師「エイダファミリー」を招へい / デュアラリンガ町と国際友好親善の町提携 / 藤沢町国際親善協会10周年記念式典 / オーストラリア政府主催セブレレトオーストラリア藤沢公演
- 1994 第5回中高生ホームステイ短期留学事業 / 94ママさんの翼海外研修事業 / 第1回セントウルスラ学院受け入れ事業 / 第1回フレンドシップツアー東京 / オーストラリア姉妹都市協会から「最優秀提携賞」受賞
- 1995 橋本輝雄氏が会長に就任 / 第7代講師「エイチナンファミリー」を招へい / 第1回町民の翼海外研修事業 / 第1回セントメアリー高受け入れ事業 / 第1回デュアラリンガ町友好訪問団受け入れ事業 / 第5回ふるさと発見96inフジサワ / 第5回英語カルタ大会開催 / 日本語中国語教室開催
- 1996 第8代講師「ニコルスファミリー」を招へい / 第1回日越教育交流事業 / 異文化理解セミナー開催
- 1997 会の名称を藤沢町国際交流協会に改称 / フィジー国際交流事業陶芸研修受け入れ / オーストラリア日本庭園造成支援事業ボランティア派遣
- 1998 町が新設した国際交流課に協会事務局を設置 / 第9代講師「ポール&ラナ」を招へい / 設立15周年記念特別講演会 / オーストラリア日本庭園開園式、セミナーハウス落成式 / セントメアリー高セントウルスラ学院と町が友好協定を締結 / 財団法人国際交流基金から「地域交流振興賞」受賞 / オーストラリア姉妹都市協会から「最優秀姉妹都市協力賞」最優秀単独事業賞を受賞 / 県立藤沢高校に国際交流クラブが発足 / フィジー諸島共和国友好訪問事業
- 1999 外務省と共催で「外交の窓in藤沢」開催 / 地域交流振興賞受賞記念および中高生ホームステイ短期留学事業10周年記念祝賀会開催 / 第10代「パロンファミリー」を招へい / 第10回中高生ホームステイ短期留学事業
- 2000 第11代講師「ジョン&ホーリー」を招へい / 「大籠南部神楽保存会がシドニー五輪聖火リレーイベントに出演 / 第1回友好の翼事業(ベトナム方面)